

1. 足久保こども園の教育・保育目標

「自ら学び 共に育つ」

- ・明るく元気な子・思いやりのある子・あいさつができる子
- ・話が聞ける子 ・自分を表現できる子

足久保こども園重点目標

- ・やってみよう ちょうせんしてみよう

2. 園の教育・保育の具体的な基本目標

- (1) 活動体験を十分に積み重ねる。
- (2) 養護による自己発揮を考慮し、乳幼児期にふさわしい生活の展開をしていく。
- (3) 遊びを通した指導を中心として5領域のねらいを達成する。
- (4) 園児一人一人の課題に即した指導を行う。

3. 学校関係者評価項目の取り組み・達成結果の自己評価

- A 十分達成されている B 達成されている
C 取り組まれているが達成されていない D 取り組みが不十分である

	評価項目	評価	職員自己評価
1	保育の計画性	A 2 B 12 C 13 D 2	・昨年の反省を踏まえ、会議以外の他の時間に他クラスの職員で集まる時間を作り各クラスの様子を伝えあい、計画に沿って活動の進め方等を話し合うことができた。 ・いつも会議や話し合いに参加できない職員とも共有することができた。 ・職員が「ねらい」や内容を理解した上で計画を進めることができた。 ・行事などの取り組みに関しては、もう少し計画的に普段の保育の中に取り入れられたら良かったと反省。環境、活動の設定に課題があった。 ・一人ひとりの子どもの様子を共有するよう努めていたが、不足していたと感じることも多々あった。共有し計画を立てていく努力をしていきたい。
2	保育の在り方 幼児・乳児の対応	A 2 B 14 C 11 D 4	・子ども自身が主体的に、考えて動けるような声掛け、保育を意識した。 ・子ども達の「やってみたい」という気持ちを汲み取り、その遊びや興味が広がるような環境設定や保育者の関わりが不十分だったと感じる。興味から遊びに繋がっても 単発的な遊びで終わってしまうことがある。保育者の関わり方や、遊びが展開できるような環境（物的・人的）を見直していきたい。 ・子どもの見方の思い込みや決めつけで関わってしまうこともあったため、一人ひとりの成長を十分に理解したうえで対応していきたい。
3	教諭としての 資質・能力 良識・適正	A 0 B 12 C 13 D 4	・より良い保育ができるようにクラス内や他の保育者に自分の思いを伝えたり、意見を交換したりするように心がけることができた。 ・若手の保育者のお手本になれるよう努力したい。 ・配慮児との関わり方で悩む場面が多い中、研修や多機関との連携を経て子どもの見方が変わり対応ができるようになった、自分の「子どもを見る視点」を改めて考えるきっかけとなった。 ・保育者としての自覚が足りていない。周りの職員の行動と関わりを学んでいく。
4	保護者への対応	A 1 B 12 C 13 D 3	・生活面や発達面で気になる子の家庭との連携を大切にした。特に送迎時にその日の様子と家庭での様子をこまめに伝え合うよう意識した。 ・子どもの発達について保護者にどう伝えていくか、自分自身も知識と経験が足らず苦戦した。 ・家庭での様子を少しでも聞き出すようコミュニケーションを取り信頼関係を築くよう努力した。
5	地域の自然や 社会との関わり	A 0 B 12 C 8 D 6	・4月～9月は散歩の機会があまりなかった。10月以降は職員で話し合い自然に触れることや園周辺の探索を目的とした散歩を意識的の取り入れたことで、以前より足久保地区を身近に感じられるようになってきた。 ・昨年より散歩に行く機会を増やし、地域の環境や自然を感じられる機会がたくさんあった。 ・1日の日課がなるべく崩れずいつもの保育の中で散歩に出かけられるよう事前に計画を立てて園外に行ける機会を増やしたい。
6	研修と研究	A 1 B 11 C 12 D 4	・今年度受けた研修が保育者として実のなるものとなった。 （障害児保育の研修や他機関との連携を経て） ・今年度、園内研修の体制が変わったことにより、非常勤でも研修に参加できるようになり、自己を振り返り新しい気づきや学びを習得することができた。 ・園外の研修に参加することで、現状と違うと悩んでしまうことがあった。 ・園内研修の中で出た疑問について解決しないまま追わってしまうことがあった。

令和7年1月

学校関係者評価委員による園評価

① 評価 A

- ・保育についての積極的な研修を重ね、園の重点目標の具現化に向けて、職員が努力している。
- ・子どもの思いや願いを大事にした遊びの場を設定し、子ども自身が自ら活動し、その中から学ぶことができている。又、子どもたちの安全を守るための危機管理も職員が意識していて、子ども達が安心して生活できる場となっている。

② 評価 A

- ・全職員で工夫しながらより良い保育を目指し模索する姿が素晴らしい。
- ・足久保の豊かな自然や文化などを取り入れた活動を更に進めていただきたい。
（散歩や山登り、お茶・野菜学習、高齢者との交流・福祉学習・水害などの災害学習）
- ・情報共有や連携はこれさえやれば良いということではなく、色々な複数のやり方が必要です。
（職員同士、保護者、地域への対応）
- ・保育困難児も増えて大変だと思うが、多様性を重視し、プロとしての活動を期待しています。
- ・サル、シカ対策は地域全体としても対応していきたいと考えています。